

地域の次世代を担う若年層に産学官が一体となって気候変動適応への関心と主体的な適応を喚起し、Well-beingな地域社会の実現を目指す。

1. 事業目的

近年、気候変動の影響は、熱中症等、日常生活にまで及んできている。2030年から始まるSWG時代を生きる若年層への気候変動適応への理解の醸成、主体的な取組みが重要となってくる。そのため企業、大学、地方自治体、環境省が一体となって実施する「中部気候変動適応チャレンジカップ」を創設し、アイデア創出とネットワークの構築によって若年層が主役となってけん引する持続可能でWell-beingな地域社会の実現を目指す。

2. 事業内容

① 中部気候変動適応チャレンジカップの創設

中部管内の産学官(企業・大学・国及び地方自治体)が一体となって地域の次世代を担う若年層に対し、気候変動対応の理解醸成・行動誘発等の支援を実施する。

- 応募資格・対象：原則大学生・大学院生・専門学校生・25歳以下の社会人等(高校生以下は除く。専攻・職種等は不問。中部管内に寄与する気候変動対策に限っては中部管内以外からの応募も可)80件程度の応募を目指す。
- 個人またはグループでの応募が可能。
- 原則として気候変動適応対策に関する提案であること。ただし気候変動緩和策(脱炭素)と適応策との組み合わせ提案も可能。
- 応募期間：令和8年9月1日～令和8年11月30日必着
- 応募方法：所定の応募用紙に必要事項を記入の上、「中部気候変動適応チャレンジカップ(仮称)」事務局までメール添付または郵送にて応募する。
- アイデアソンの開催：「中部気候変動適応チャレンジカップ(仮称)」応募希望者を対象として、よりよい提案づくりの参考となる気候変動適応アイデアソンを7月～8月頃に、愛知県、長野県、石川県等で各1回2時間程度、対面参加者30名程度、有識者の講演とワークショップ(意見交換会)を対面及びWEBにて開催
- 審査：令和8年12月頃、有識者及び中部地方環境事務所からなる審査委員会を開催し、最優秀賞(環境省中部環境局長賞)1点、優秀賞2点他、計10点程度を選定する。入賞者には表彰状、副賞(商品券(5万円)及び3位入賞迄は盾)を授与する。※副賞の商品券は協賛企業からの協賛金で賄う。
- 表彰式：令和9年2月頃、愛知県名古屋市において表彰式を開催する。
- 協賛：中部管内の企業から協賛を得るとともに、協賛金5万円/社の協力を求める。
また中部管内等の大学等から協賛を得るとともに、応募等の広報についても協力を求める。

3. 事業スキーム

- 予算：R8年度気候変動適応地域づくり推進事業地域業務予算

4. 事業イメージ

